

ミツバチが農作業の省力化に一役

とよたの梨 受粉作業始まる



豊田市南部の福受（ふくじゅ）地区で、梨の開花に合わせてミツバチによる梨の受粉作業が始まります。梨は異なった品種でないと受粉しない性質を持っているため、同地区で梨の栽培をするJAあいち豊田梨部会員はミツバチを使った受粉作業でおいしい梨を栽培しています。

ミツバチは市内の養蜂家から借り受け、同地区の畑（面積：約3.2畝／梨の木の本数：約1,000本余り）の約8割程度をミツバチによって受粉させ、農家の作業量軽減に役立てています。受粉作業は花の状態を確認しながら10日～2週間ほど続けられます。今年は寒い日が続いたため、昨年より2日遅い作業開始となる予定です。福受地区ではミツバチを活用した受粉を50年以上前から続けています。

JAあいち豊田梨部会（部会長：梅村 長史）は、同市の猿投・福受地区の34戸の農家が、合わせて約21畝で梨を栽培しています。7月20日ごろから「愛甘水」「あけみず」の収穫が始まり、8月上旬の主力品種である「幸水」、11月のジャンボ梨「愛宕」まで9品種を「とよたの梨」として順次出荷する予定です。



△白い花が咲く梨園をミツバチが飛びかう風景が撮影できます

令和7年 JAあいち豊田梨部会 概況

栽培面積：21畝（猿投・福受地区）

栽培農家（部会員）：34戸

出荷量（令和6年選果場出荷量）：285ト

取 材 日

取材日時：2025年4月14日（月） 午前10時

【雨天予備日 4月15日（火） 予定】

集合場所：福受梨組合集荷場（豊田市福受町中ノ切26番地）

※取材の梨園は別の場所です。JA職員がご案内いたします。

※取材希望の方は、下記までご連絡をお願いします。

担当者不在の場合は、広報課（0565）31-2361 へご連絡ください。

お問い合わせ先：

JAあいち豊田 営農生活部 猿投営農センター 選果場 担当：伊藤・中野

〒470-0373 豊田市四郷町森前南26番地4 電話（0565）46-2225

または、広報課 電話（0565）31-2361 E-mail k.koho@toyota.aichi-ja.or.jp

